



地震に備えましょう



緊急地震速報

地震の伝わる速さの特性を利用し、大きな揺れが来る前にお知らせをするのが緊急地震速報です。

震源から離れた場所では、大きな揺れの数秒前に情報を受け取れる可能性があります。

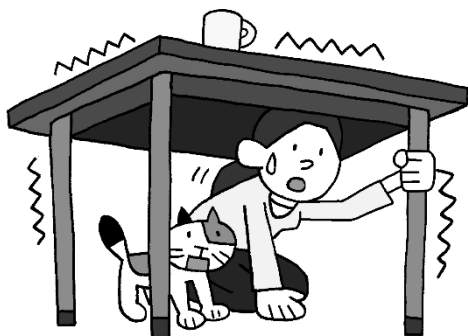
(※直下型の地震では、揺れの方が早く到達することもあります)

緊急地震速報を聞いたら・・・揺れを感じたら・・・

まずは身の安全を守りましょう！

屋内

大きな家具などから離れた
じょうぶな机の下など、安全
な場所に隠れて、頭を守りま
しょう。



屋外

ブロック塀や電柱、瓦など、
倒れたり落ちたりするものか
ら離れ、カバンなどで頭を守
りましょう。



南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、巨大地震の発生の可能性が高まっていると考えられる時に気象庁から発表されるのが、南海トラフ地震臨時情報です。

地震等

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら・・・

普段どおりの生活をしながら、次のことに注意してください。

- ・揺れを感じたら直ぐに避難できる態勢の準備と身の安全の確保
- ・日頃からの地震への備えの再確認

短時間で津波が到来する地域では事前の避難が必要ですが、尾道市内に該当の地域はありません。



地震に対する備えは、臨時情報が発表されたから備えをするものではありません。普段から備えをし、もしも臨時情報が発表されることがあれば、その備えを再度点検するといった状態にできるようにしましょう。

※地震の予知をするものではなく、地震の前に必ず発表されるものではありません。

揺れの次に気を付けること

WEB版
ハザードマップ



場所や建物の構造等により、優先すべきことは変わってきます。
自宅周辺にどのようなリスクがあるか、ハザードマップで確認しておきましょう。

津波

浸水想定区域の外へ逃げましょう



津波の到達が予想される場合は、地震発生から数分以内に津波警報等が発表されます。津波の浸水想定区域にいる人は、すぐに避難を開始しましょう。

突然発生する地震と違い、津波の到達までには時間があります。正しく行動すれば、津波から逃げるができます。

外出中など、慣れない場所で地震に遭遇するかもしれません。

避難所・避難場所の看板や、海拔表示などを確認して安全な場所に避難してください。

表示が「○」のところに避難！



4m以上に避難！



▲避難所・避難場所看板

▲海拔表示

土砂災害

地震の影響で、土砂災害が発生するおそれがあります



地震の揺れや、地震で地盤が弱くなったところに降る雨によって、土砂災害が発生する可能性があります。

土砂災害のハザードマップを確認しておきましょう。色がついていないところが安全とは限りませんが、色がついているところが危険なことは間違いありません。周囲の状況を確認して、異変があればすぐに安全を確保しましょう。

建物の倒壊

建物に閉じ込められる可能性があります



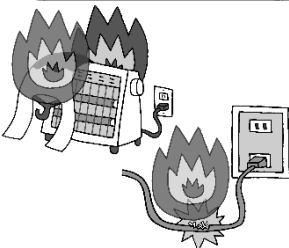
揺れがおさまったら、ドアや窓などを破って出口を確保しましょう。倒壊していない場合でも、建物に変形してドアが開かなくなることがあります。安全が確認できるまではドアを開けておきましょう。

出られなくなった場合は、大声などで外部に存在を知らせましょう。

建物に損傷がないか確認してください。最初の地震で倒壊しなくても、余震やより大きな地震が発生した場合、倒壊する可能性があります。

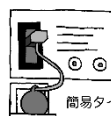
電気火災

停電から復旧したときも危険です



停電から復旧した際に、壊れた配線から出火したり、燃えやすい落下物が被さった状態で電気製品が動き出し引火したりすることがあります。

避難の際にはブレーカーを落としましょう。揺れを感知して自動でブレーカーを落とす「感震ブレーカー」を設置しておく、落とす忘れを防げます。



備えが大切です

- 家屋の耐震化
- 就寝場所の見直し
- 机の下などの空間確保
- 家具等の固定
- 枕元にスリッパ・ライト・ホイッスル
- 感震ブレーカーの設置
- 食糧等の備蓄
- 火を使う機器の点検
- 消火器の設置・使い方確認
- 非常持出品・持出袋の用意
- 防災ラジオの設置
- 危険箇所の確認
- 防災アプリの活用
- 避難場所・避難経路の確認
- 安否確認のルール決め
- 携帯電話の充電
- 健康管理・体力づくり
- 防災学習
- 地域の連携体制づくり
- 定期的な訓練
- など

アプリ

